

ちんこきょうだいの

いわての

# とってまき!

魅力わんこ盛りのいわてから、いいもの、面白いものをよりすぐり。毎回わんこきょうだいがナビゲートします。

今月のテーマ

## 岩手発! 猫グッズ

### 一匹一匹に合った商品を!

猫の個性や体型にピッタリ合う商品って意外に少ないみたい。盛岡市の(株)クロス・クローバー・ジャパンは岩手の素材や職人技を生かして猫の使い心地にこだわった商品を作っているんだ。



### 猫の満足度がバロメーター

ものづくりの基本は「ネコ目線」。写真の商品も、実際に猫に使ってもらい何度も改良を重ねたもの。飼い主さんが猫の気持ちで試せるよう、人間サイズのサンプルも用意しているんだよ。



### 世界の猫好きさんへ発信!

長く使えるシンプルなデザインと丁寧なものづくりが飼い主さんにも好評で、海外展開も考えているんだって。将来、世界中の猫好きさんに愛用されるかもしれないね。

世界のネコたちへ! ものづくりをネコ目線の



®わんこきょうだい

爪研ぎ用「がりがりボード」



猫のフードスタンドセット「まんま台ラウンドまんまボウル」



「まんま台」は、猫が食べやすい高さを考慮。食器は返しが付いた特殊形状で餌が中央に集まるので最後のひと口まで食べやすい。「がりがりボード」は、県産のナンブアカマツとナラの組み木作りで体の大きな猫でも安心な幅広タイプ。どちらも岩手の熟練職人による手作り。

「あいやあ、おらの頭あたまこのごろ、なんぼがおがしくなってきたんでねべがどうすつぺえ、この先ひとりなんじよで、何如なんじよにすべがあ「冒頭から東北弁で語り出される小説『おらおらでひとりいぐも』。これは、1月に第158回芥川賞に選ばれた若竹千佐子さんのデビュー作。63歳の新人作家として大きな注目を集めました。



## 今月の表紙

若竹千佐子さん

遠野市出身。2017年『おらおらでひとりいぐも』で第54回文藝賞を受賞しデビュー。2018年に同作で第158回芥川賞を受賞。

「私にとって標準語は着飾った言葉。自分の心と向き合う時は、体に染み付いた岩手弁になります。絵の具でいえば何色もの色があるのが、方言。そこに生きてきた人々の歴史や味があります」。そう語る若竹さんを育んできたのは、心温かな遠野の家族であり、美しくも厳しい自然でした。

「過酷な冬に鍛えられるせいか、岩手の人は我慢強くて、なにくそと踏ん張れる底力がある。私も負けず嫌いですが、岩手の女性はみんな強いでしょ(笑)」。若竹さんの言う岩手の芯の太さは、独りで生きていく主人公の姿にも重なっているような気がします。